



しぶさわえいち 渋沢栄一と さんぼんぎはら 三本木原

問スポーツ・生涯学習課 ☎0176-58-0184

7月3日から登場する新一万円札には、渋沢栄一（1840年～1931年）がデザインされます。

渋沢は500もの企業の設立や育成にかかわり、「近代日本経済の父」と呼ばれる大実業家ですが、明治～昭和期の三本木原の開墾にも大きな役割を果たしたことをご存じでしょうか。渋沢栄一の三本木原での足跡を追ってみましょう。



所蔵：深谷市

新渡戸傳の開墾事業を引き継ぐ民間会社の設立

明治17（1884）年、新渡戸傳^{にとべつとう}が開始した三本木原の開墾を継続するため、三本木共立開墾会社（以下、開墾会社）が設立されました。出資者を募り、開墾に成功すると株券に応じて開墾地が与えられる計画でしたが、設立当初は、出資者が集まらず、経営難となっていました。

開墾会社を助けた渋沢栄一

明治21（1888）年、渋沢は自身が経営している銀行が開墾会社と取引があった関係から、開墾会社の株券を引き受けることで経営を助けます。これを契機として、その後も株式の増資や必要な助言を行いました。

開墾会社は事業を進め、稲生川の水路を太平洋まで延伸させるなどの成果を上げていきます。

渋沢農場の開墾

明治23（1890）年、渋沢は開墾会社の株券によって割り当てられた土地を利用して「渋沢農場」を開墾しました。農場の敷地は広大で、大正13（1924）年の時点で、現在の十和田市、六戸町、おいらせ町に広がり、その面積は1,700ヘクタールに及びました。農場は昭和27（1952）年まで存続し、地域農業の近代化や農家の生活向上のモデルとなりました。

渋沢栄一と水野陳好

大正9（1920）年、稲生川の水利権をめぐり、開墾会社と地元地権者の間で争いが泥沼化。渋沢はその仲裁役を双方から依頼され、東京帝国大学教授の原熙と助手の水野陳好^{みずのちんご}（後の十和田市長）を三本木に派遣します。紛争の解決に携わった水野の手腕を評価した渋沢は、農場が営利のためではなく地域の発展のためにあることを伝え、水野を5代目の渋沢農場長としました。

農場長となった水野は、三本木原の根本的な開墾には国による事業化が必要と考え、決死の覚悟で取り組みます。渋沢も国への陳情にかかる費用を負担するなど物心の両面にわたり水野を支えました。三本木原の国営開墾事業は、渋沢の死後、昭和12（1937）年に実現することになります。



三本木開墾株式会社（三本木共立開墾会社が明治27年に組織変更した後の名称）

出典：ふるさと思い出写真集十和田
国書刊行会 工藤祐Ⅱ編



渋沢農場の図面の一部（現在の十和田市部分）

所蔵：三本木原開拓澁澤農場文庫



大正時代の渋沢農場

出典：写真集なつかしの三本木
日刊東北社



水野 陳好

所蔵：三本木原開拓澁澤農場文庫

三本木に來た渋沢栄一



所蔵：三本木原開拓澁澤農場文庫

写真は、明治41（1908）年9月に渋沢が渋沢農場を視察したときのものです。

前列左から4人目が渋沢、その隣が兼子夫人とされます。渋沢の日記によると、鉄道で古間木駅^{かねこ}（現三沢駅）まで来た渋沢は、そこから人力車で三本木に移動し、渋沢農場を訪問しました。その後、太素塚、三本木産馬組合などを訪れ、地域の人々の歓迎を受けています。

また、郷土芸能の「駒踊」^{こまおどり}なども見て、大変興味を覚えた感想を記しています。

インタビュー Interview

渋沢農場の資料を今に伝える
さんぼんぎはらかいたくしぶさわのうじょうぶんこ
三本木原開拓澁澤農場文庫

みずの さとる
管理人 水野 悟さん

三本木原開拓澁澤農場文庫は、義理の祖父で、第5代目の渋沢農場長になった水野陳好（1895年～1991年）が自費を投じて、昭和59（1984）年11月に開設したものです。

文庫には、明治中期から昭和27（1952）年に渋沢農場が解散するまでの膨大な資料が収められています。農場や国営開墾などの資料のほか、渋沢の直筆の書や手紙、写真などもあります。

渋沢農場は渋沢が開墾し、広大な敷地を誇りましたが、現在では、知る人も少なくなりました。今回、渋沢が新紙幣の肖像になることをきっかけに、若い人たちにも、渋沢が本市とゆかりを持ち、大きな貢献をしたことを知っていただければと考えています。



三本木原開拓澁澤農場文庫（東二十一番町）

通常は一般公開を行っていませんが、9月下旬に文庫の公開を予定しています。

見る 読む
聞く 参加する

市民図書館 7月の展示図書
新紙幣に関連する図書を展示しています

新紙幣発行を記念して
開催予定のイベント一覧

問政策財政課 ☎0176-51-6710

ぜひご参加
ください



渋沢 栄一 津田 梅子 北里 柴三郎

とき	イベント名
7月6日(土) 7日(日)	とわだ円 ^{まる} っとフェス
7月13日(土)	とわだ市民カレッジ第3講座 おれで学ぶ日本の歴史
7月27日(土)～ 9月30日(月)	おさとうりー 《お札・T(h)ree》
8月6日(火)	北里大学特別講義 北里大学夏休み体験学習
9月下旬（予定）	「三本木原開拓澁澤農場文庫」 の公開
9～11月（予定）	「食と農」安全・安心推進事業 おいしい十和田自炊塾

7・8月に開催するイベント情報について
詳細を4ページに掲載しています➡